



SINCE 1989

札幌国際親善の集い 創立25周年記念誌

目 次

会長挨拶〈谷口 エツ〉	2
祝辞	
・北海道知事〈高橋 はるみ〉	3
・札幌市長〈上田 文雄〉	3
・駐札幌大韓民国総領事館 総領事〈鄭 煥星〉	4
・在札幌ロシア連邦総領事館 総領事〈V.サープリン〉	4
・中華人民共和国駐札幌総領事館 総領事〈滕 安軍〉	5
・横路孝弘衆議院議員夫人〈横路 由美子〉	5
《回想》創立25周年を迎えて	6
留学生	11
札幌国際親善の集い年譜	12
思い出の25年	17
インドネシア訪問	22
韓国訪問・公演	24
初代会長 谷口良一氏をしのんで	28
札幌国際親善の集い 会則・細則	29
あとがき	32



「札幌国際親善の集い」 創立二十五周年に寄せて

会 長 谷 口 エ ツ

平成元年より二十三年続いた「札幌国際親善の集い」も会長の逝去により、副会長の谷口エツがその後継者として会長を引き受けた。平成二十五年には、第二十五回の大切な節目を迎えた。平成二十五年一月十日札幌文化団体協議会より、谷口エツ個人に札幌文化団体協議会文化功労賞を受賞した。平成二十五年九月五日には、第三十七回道新ボランティア奨励賞を札幌市代表として受賞した。平成二十五年十二月二十六日には、北海道知事より平成二十五年度北海道社会貢献賞を、国際協力貢献者として、身に余る賞を頂戴した。これは二十三年間谷口良一会長としての努力の蓄積が、各賞に結び付いた結果として頂戴したものと信じている。

又当集いが、十年間宿願でもありました韓国ソウルでの文化交流が現駐在札幌総領事鄭様の熱意により、韓国外国語大学校日本語大学学長崔在喆学長様よりお引き受けの許可を戴いた。大学院のステージで日韓の文化交流の公演が行われた。此の事が御縁で、平成二十六年二月五日より八日迄、札幌雪祭りに崔学長御一家三名をお迎えした。市内めぐり、雪祭り会場、氷の祭典広場へと、ご案内させて頂いた。途中、札幌市役所国際交流課部長今井啓三郎様、北方圏センター（ハイエック）専務高橋様、北海道大学留学生センター長杉浦様にアポイント各三十分ずつの大切な時間内に有意義な密度の濃い、対談が印象に残った。二月七日、札幌ビール園にて、韓国鄭総領事御招待の昼食会には、私共も三名御馳走になり楽しいひとときを過ぎた。二月七日夕食はパークホテルにて、ソウルに訪問した会員を含め、二十四名が、親しく楽しい歌あり踊りあり崔学長御一家のコーラス（四季の唄）は練習の成果がでていた。最後学長の御要望で、ソウルで練習した北海盆踊で楽しいしめくくりとなった。—おもてなしに悔いのない様に—



崔学長と北海道国際交流・協力総合センター 高橋専務理事を訪ねて



ソウルの打ち上げ食事会にて崔学長を囲んで出演者一同



「札幌国際親善の集い」 25周年記念」

北海道知事
高橋 はるみ

「札幌国際親善の集い」が記念すべき発会25周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

会員の皆様におかれましては、これまで25年の長きにわたり、国際交流団体への支援や、留学生への日本舞踊・茶道の指導といった日々の活動を通じた日本文化の世界への発信などにより、北海道の国際化推進に大きな役割を果たしてこられましたことに感謝申し上げます。これまでの活動を通して本道における国際協力の推進に果たされたご功績を讃え、昨年12月に北海道社会貢献賞を贈呈させていただいたところであり、改めて深く敬意を表します。

本道には、姉妹・友好提携を結んでいる地域をはじめ、様々な国や地域から多くの観光客が訪れるなど、海外との交流は着実に進展しています。

こうした国際交流の基盤となるのは「人と人との絆」であり、相互理解の促進が交流の裾野を広げ、将来に向けての繋がりを深めるものであると思います。

皆様には今後とも、国際親善に向けた活動を通じて、北海道の国際化にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、「札幌国際親善の集い」の今後益々の発展と、皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



「札幌国際親善の集い」 創立25周年に寄せて

札幌市長
上田 文雄

「札幌国際親善の集い」の皆様が、平成元年の創立から25周年を迎えられましたこと、そして、その記念すべき年に「第37回道新ボランティア奨励賞」及び「平成25年度北海道社会貢献賞」を受賞されましたことを心からお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、創立当時から開催されているチャリティーイベントや日本舞踊の教室を始めとした文化交流など、海外から札幌に来られた方々とさまざまな交流の機会を設けられ、札幌市の国際交流の推進に大変ご尽力いただき、厚くお礼を申し上げます。

また、昨年10月6日には札幌市の姉妹都市である韓国・大田広域市、同8日にはソウル特別市において伝統的な日本舞踊をご披露いただき、大変盛況であったと伺っております。このように、札幌市民と海外の方々との架け橋となる国際交流活動を、25年の長きにわたって継続されていることに深く敬意を表します。

札幌市では、国際施策の新しい基本計画となる「札幌市国際戦略プラン」を平成25年度に策定いたしました。その中では、10年後の札幌の国際都市像を「創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市さっぽろ」として掲げております。札幌市が目指す都市像の実現には、多様な文化を尊重しお互いを認め合う「多文化共生」を推進していくことが重要だと考えておりますが、皆様方の活動はまさしくこれに寄与するものです。

今後も札幌と世界各国との相互理解の輪がさらに広がりますよう皆様方の変わらぬお力添えをお願い申し上げますとともに、「札幌国際親善の集い」のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。



「札幌国際親善の集い」 設立25周年を迎え

駐札幌大韓民国総領事
鄭 煥星

「札幌国際親善の集い」設立25周年を心からお祝い申し上げます。

1989年の創立以来、長年の間、北海道を代表する国際親善団体として外国との友好親善の増進と地域の国際化に大きく寄与してこられた貴団体に尊敬と敬意を表します。

特に、札幌国際親善の集いの会員たちが国を離れてきた外国人留学生を温かく迎えて、言語や文化、生活環境が異なる北海道でよく適応するように支援と配慮を施すことは、彼らに大きな力になるだけではなく、国際親善のための手本にもなると思います。

また、札幌国際親善の集いが伝統舞踊や茶道などを通じて民間レベルで外国と真心の交流を続けることは、円満な国家間関係と国際平和を維持・発展させる礎だと確信します。

このような観点から、昨年10月に札幌国際親善の集いが初めて韓国を訪問し、札幌の姉妹都市である大田市を訪問すると共にソウルの韓国外国語大学との交流会を行ったのは、韓日両国民間の相互理解と親交を深める貴重なきっかけになりました。

今後も札幌国際親善の集いが活発な活動を通じ、韓国を含む諸外国と日本の友好親善を促進するための架け橋の役割を担ってくださることを期待します。

札幌国際親善の集いが創立25周年を契機に、さらなる飛躍的な発展を遂げますよう、また谷口エツ会長をはじめ会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。



「札幌国際親善の集い」 創立25周年祝辞

在札幌ロシア連邦総領事
V. サープリン

親愛なる国際親善の集いの皆様、貴会の二十五周年記念日にちなんでお祝いのメッセージをお送りいたします。外国との人間交流、札幌にくる留学生への支援、北海道在住の外国人が日本での生活に慣れつくすためのボランティア運動等はすべて貴会の四半世紀にわたっての活動であり、正に国際親善の絆を強めるために貢献をなさっておられる皆様の努力のすばらしい実りであります。

私自身は札幌での十年間に及ぶ勤務中で貴会のイベントその他に何度も参加させていただいたことがあります。今回は勤務が終わりになろうとしておりますのでこのメッセージは皆様へのお別れの挨拶となっております。どうかこれからも国際親善の集いの皆様が積極的にご活動されることにご祈念いたします。



札幌国際親善の集い 設立25周年記念に寄せて

中華人民共和国駐札幌総領事
藤 安軍

札幌国際親善の集い25年に当たり、谷口会長をはじめ、会員の皆様に、心よりお慶び申し上げます。

札幌国際親善の集いは1989年に創立して以来、北海道における草の根の民間国際親善交流団体として、札幌市の国際化及び諸外国との相互理解の増進に大いに貢献されてきました。これに対し、深く敬意を表します。

国家間の友好は、とどのつまり国民の友好であり、国家間の民間交流は、国家間の未来と友好を築き上げるには不可欠しかも重要な構成部分であります。

札幌国際親善の集いが、これからも、日本と中国、または世界との友好交流の架け橋として、より大きな役割を果たされますよう心よりご期待申し上げます。

最後に、札幌国際親善の集いのますますのご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



札幌国際親善の集い 設立25周年記念に寄せて

横路孝弘衆議院議員夫人
横路 由美子

国際親善の集い25周年心より御祝申し上げます。今は亡き御主人様と共に、多くのボランティアの方々の気持を束ねられ、国際親善の集いしてスタートを切られました。当時、私の夫が北海道知事を拝命していましたので、国際協力国際親善にかける熱意あふれる民間の方々の活動にどんなに力づけられ嬉しく思ったことか、昨日のことのよう思い出します。谷口さんご夫妻が、日本舞踊を軸にして、各国領事館や留学生の皆さんに日本文化の楽しさ美しさを教え、お宅に招いて家庭料理をふるまっておもてなし、着物を着付けて下さったり、野外パーティーや外国親善訪問など、実に多方面に国際交流の実践を行ってこられました。昨年の北海道地域貢献賞をはじめ多くの方面からその活動を称えられ感謝されたのも当然のことと思います。私が、その活動の最初から、ほぼ皆勤賞で参加させていただいてきたのも谷口様御夫妻の熱意と魅力の賜物だと思えます。心からの感謝をこめ、御祝のメッセージと致します。

《回想》 創立25周年を迎えて



創立25周年に寄せて

理事長 大西 勲

私と札幌国際親善の集いとの関わり合いは、札幌北ロータリークラブでした。私は昭和62年に札幌北ロータリークラブに入会したのですが、その後谷口良一先生は国際都市札幌に民間による国際交流の場を作りたいとの熱意を持たれ、平成元年に札幌国際親善の集いを立ち上げられたのでした。会長の谷口良一先生、理事長の金田弘夫先生、そして福田十太郎さんもロータリアンでした。

私は当初から熱心に参加していたわけではありませんが、いつの間にか参加する機会も増え、理事として活動させていただいておりましたが、理事長の坂東先生が体調を崩されたのち理事長の職を引き受けることとなりました。

平成25年は札幌国際親善の集いとしては、素晴らしい年となりました。詳細は他の人の原稿に譲ることにしますが、谷口エツ会長が札幌文化団体協議会より文化功労章の受賞、札幌国際親善の集いとして北海道新聞社、北海道よりそれぞれ大きな賞をいただきました。

これもひとえに長い間支えていただいた会員の皆様のおかげと感謝申し上げます。

そして長年の念願であった韓国訪問もでき大成功を収めました。これも参加いただきました皆様と応援していただいた会員の皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

雪まつりには、韓国訪問の際にソウルで大変お世話になりました韓国外国語大学校、日本語大学の崔学長とご家族が札幌に来られ3泊4日滞在され、会員の皆様と交流されたのも楽しい思い出となりました。

さてこれからどうするかですが、理事会で方向を定めなければなりません。私自身としては高齢でもあり若いバイタリティーのある特に男性が現れないかと考えております。



札幌国際親善の集い・25周年 お祝いの言葉

副会長 荒木 隆二

「札幌国際親善の集い」25周年、誠におめでとうございます。

谷口ご夫妻様が、この会を発足された当初、世界の多くの国々の人々と接し、心のふれあいを大切にしながら、世界平和の為、また、日本の文化・芸術等々を広めることが、この会の主旨だとお聞きし、大変すばらしいことだと私も賛同いたしました。

故・谷口会長様が提唱されました、その志を大切に、現会長と共に今後も各国の方々との相互理解

の増進及び、友好関係の発展の為、お手伝いをさせていただきたいと思っております。

最後に、これからの「札幌国際親善」の益々のご発展をご祈念いたします。



国際親善と私の人生

副会長 八百坂 康子

“草の根国際交流を”「親善の集い」今日、発足という記事が新聞に載ったのは、今から二十五年前（平成元年六月二十一日）のことでした。

私も、ほぼ同じ年に、異業種文化交流会「トリアノン」を設立しており、国際的な民間レベルの交流をぜひとり入れたいと願っておりましたので、早速、会場の第一ホテルに赴き、入会させていただきました。

あれから二十五年、共に歩みを進め、谷口エツ会長のご指導をいただきながら、今日を迎えました。会長のバイタリティーと民間国際交流への熱き思いに心から拍手を贈るもの一人であります。

これからも益々発展し、国際平和への礎とならんとしてわが人生を重ねて深くおmoiをいたしております。



「札幌国際親善の集い 25周年を迎えて」

札幌市議会議員 副理事長 近藤 和雄

「札幌国際親善の集い」が平成元年に産声をあげて早や25年を迎えました。当会は会員相互の友情と人間愛に

基づく国際交流活動の推進により、国際間の相互理解と国際親善の高揚につとめ、もって世界平和の進展に寄与することを目的とする市民レベルでの、民間版国際親善のボランティア団体であります。これは札幌市が今日まで進めてきた外国諸都市との姉妹・友好都市提携は、国籍や国境を超え、教育、観光、文化、経済等の交流を通じて相互の理解を深め、国際親善と世界平和に寄与することを目的としており、当会が目指す親善・平和と一致しております。当会の活動の中で特筆すべきことは札幌市の国際部門の一翼を担っていると言っても過言ではありません。

札幌市の長い歴史の中で海外との姉妹友好を結んでいる都市は①昭和34年11月、アメリカ、ポートランド市、人口59万人②昭和47年8月、ドイツ、ミュンヘン市、人口144万人③昭和55年11月、中国瀋陽市、725万人④平成2年6月、ロシア、ノシビルスク市、150万人⑤平成22年10月、韓国大田広域市、153万人の5都市であります。

いずれも当会の25年の活動の中で、谷口良一前会長、エツ現会長、会員の皆様の熱意と努力によって5都市全てを親善訪問され、顔の見える草の根の文

化交流を着実に実践されており、その成果は札幌市内でNo.1の団体であります。まさに「成せば成る」、「継続は力」の言葉がぴったりです。

結びになりますが、「札幌国際親善の集い」が25周年を機にこれからも益々の発展と谷口会長をはじめ会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。



札幌国際親善の集い25周年によせて

副理事長 齊藤 昌一

私が初めて参加した行事は、滝野すずらん公園での留学生や会員の皆様とのハイキングでした。その後、一緒に踊ったり、ジンギスカンをしたことは今も忘れられません。以来、さまざまな行事に参加し、時には実行委員として携わってきた「札幌国際親善の集い」が25周年を迎えたことは、月日の流れの早さに驚くばかりです。また、この25周年の9月に道新ボランティア奨励賞、12月には北海道社会貢献賞を受賞させて頂いたことは大変栄誉に思うと同時に、ご協力していただきました皆様に感謝する次第でございます。

私は仕事柄、国際文化交流の訪問団に同行させて頂く機会が多くありました。特に、ソ連の時代にハバロフスクやノボシビルスク、モスクワを訪問したことや、キルギス共和国での文化交流、インドネシアのジョグジャカルタでガジャマダ大学の学長ご夫妻や多くの皆様にお世話になりましたことは強く心に残っております。また、この度は10月に在札幌大韓民国総領事館、札幌市国際部のお力添えで姉妹都市のテジョン市、首都のソウル市で国際文化交流が実現出来たことは、ひと味違う想い出深いものとなりました。現在、韓国と北海道を結ぶ直行便も増え、多くの韓国の方々が来道されるようになったにも関わらず、近くて遠い国でもありました。当集いも国際文化交流で訪問できる日を待ち望んでおり、今回の訪問が実りましたことは誠に感慨深いものがあります。

この度の訪問では、姉妹都市テジョン市で世界市民交流ハンダマン祭りや国際フード&ワインフェスティバルに参加しました。また、ソウル市では韓国外国語大学校日本語大学で伝統舞踊などの共演をして、相互に文化交流の促進と活性化を図って参りました。また、大変有難いことに各関係機関の皆様より感謝状も頂戴し、親善の一助と成りえたかと思うと感無量の一言に尽きるものでした。

今後、市民レベルでの国際交流の輪が広がるよう、当集いの活動に精進して参りたいと思います。



「札幌国際親善の集い設立25周年を迎えて」

理事 阿部 司

札幌国際親善の集いが25周年を迎えました事を、お手伝いさせていただいているスタッフの一人として、大変嬉しく思っております。

自分は、現在病気療養中の坂東前理事長が小学校時の恩師／担任の先生というご縁もあり、昨年より、この会の活動に参加をさせていただいています。

札幌国際親善の集いの日頃の活動を通じて感じますのは、谷口会長、大西理事長をはじめ、役員の方の献身的な活動、努力に頭が下がることです。

皆さん手弁当の完全ボランティアにもかかわらず、札幌と海外の国を超えた国際交流に向け、多大な時間と労力を惜しげもなく捧げており、気持ちのこもった暖かい交流の場を手作りで作り上げています。

今年2014年の2月には、昨年より交流がスタートした韓国／ソウル市にある、韓国外国語大学の崔学長様を札幌にお迎えして、北海道、札幌市、北海道大学ほか関係者の方を交えた交流プログラムが実現となり、自分も3日間、同行でお手伝いさせていただきました。

韓国の崔学長様は本当に素晴らしい人物で、日本の良き理解者であります。札幌国際親善の会の皆様も、谷口会長はじめ、献身的かつ、心のこもった交流の場を実現し、今回の崔学長様の訪問&交流で、本当に素晴らしい双方の関係が築かれていると実感しました。

現在の行き詰った状況を改善するには、国や役所のみならず、このような民間、ボランティアレベルでの心のこもった交流が、いかに大切かを改めて感じさせられた場面でもありました。

谷口会長は80歳という高齢にもかかわらず、バイタリシティ溢れる献身的な行動力には我ながら敬服させられます。

手作りの会ですが、今後とも皆様の多大なご協力を賜りますよう、衷心よりお願いをさせていただき、25周年のご挨拶とさせていただきます。



札幌国際親善の集い25周年によせて

有限会社 荒木生花店
理事 代表取締役 荒木 康久

「札幌国際親善の集い」発足より25周年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。

「真の平和の達成は、慈悲心と勇気と正義感の強い人間を一人でも多く発掘する」と確信し、沢山の方々と共に歩んだ25年は、その一步一步がとても力強いものでした。

振り返りますと、谷口会長ご夫妻とは私が幼少の

《回想》創立25周年を迎えて

頃より、両親共々深くお付合いを頂いております。ボランティア活動に邁進されるご夫妻と過ごした時間は、子供ながらに良き思い出となりました。

大人になり、谷口先輩も運動された札幌青年会議所に入会後は、世界平和の実現を願うこと・世界の人々と交流することがいかに大事なことなのかを実感致しました。今もまた、人とのつながりが重要な鍵を握ると確信しております。

「自己確立、自他共楽」の理念を胸に、亡き母の分まで、今後も精一杯活動に励みたいと思います。

結びに、これからの「札幌国際親善の集い」の益々の発展を祈念し、祝辞とさせていただきます。



記念の25周年

理事 新家 比佐子

創立25周年おめでとうございます。

この年にふさわしく「札幌国際親善の集い」は9月に団体として北海道新聞社会福祉振興基金から“ボランティア奨励賞”を、12月には道から“平成25年度北海道社会貢献賞”をいただく事ができました。又谷口エツ会長個人として、札幌文化団体協議会から、“文化功労賞”を受賞され、二重・三重の喜びの年となりました。

これも、谷口良一会長から谷口エツ会長の永年のたゆみない努力とハートのある外国との交流などが認められ、賞を戴くのが遅い位だと言われました。

姉妹都市など、あちこち外国の都市にも行って交流しましたが、今年は記念すべき年に10年間もの念願でありました韓国への訪問が叶い、18名が参加し、個人の旅行では行く事の出来ない所へ訪問させていただきました。有名な韓国ドラマの女優さんへ会って食事を戴いたり、元在日総領事の奥様の経営している中華料理店へ招待いただいたり、螺鈿会社の社長にもご馳走になったり、帰国後もキムチや海苔詰め合わせを18名一人一人に送っていただいたり、韓国外国語大学の学生と踊りの交流が出来、学長に夕食や記念のワインをいただいたり、どこへ行っても歓迎されました。

私は北海道の「ふるびらたらつり節」と沖縄の「めでたい節」を踊りました。

帰国後、まず螺鈿会社の社長が娘さんと通訳の方の3人で来札され、パークホテルでの新年会に招待し、踊りを披露して再び交流し、喜んで帰国されました。その後外国語大学の学長夫妻と息子さんを雪祭りに招待し、連日お接待の4日間でした。

全て会長の采配で、会員が交代で接待しました。行事続きの毎日でしたが疲れを見せる事もなく全て順調に成し遂げられる会長のハートのある行動に感動し、今後もう少しでもお手伝い出来ればと思います。



「国際親善の集い」創立25周年の喜び

理事 小川 雅子(若柳 旭雅)

色々な国の方々とふれ合う事のできるこの集いが、25周年を迎えられた事を心よりお喜び申し上げます。ひとえに、前会長故谷口良一様、そして現会長谷口エツ様のお力によるものでございます。

私は踊りを通して、この会に入れていただき10年を迎えました。その間外国の方々の踊り等を観せていただきました。衣装も音楽も美しく異文化に触れる喜びを感じました。又、一年間に2回、五月の「チャリティー翔!ぬくもりワールド」と十月のふれ愛チャリティーフェスティバルに弟子達と舞台上に立たせてもらいました。みんな日常あまりふれ合う事のない外国の人々との交流を楽しみました。

先日、来日なされた韓国の崔教授ご夫妻とそのご子息の接待等、谷口エツ会長の円満で柔和なお人柄で活力ある接待に頭の下がる思いです。まさしくお・も・て・な・しでした。

名ばかりの理事をさせていただいておりますが、皆様のお力になればと思っております。



祝25周年

理事 佐藤美都子

25周年を迎えおめでとうございます。

札幌国際親善の集いを知ったのはつい分前になります。平成8年に町内会の会館で民踊を教えているから一緒に入って踊りましょうと誘われて入会した時の講師が現事務局長の新家比佐子さんだったんです。その後第11回チャリティー翔ぬくもりワールドで舞台上に立ったんです。それから毎年参加している中で会員になり役員になり現在に至っております。

国際親善イコール異文化交流と少しずつわかり始めた頃領事館に行く機会、言葉の異なる人たち、特にインドネシアから多数の方々が来札した時はじかに接し、言葉を交すことが出来たこと、今年に入り螺鈿工芸家の吉さん、韓国大学学長の崔さんと立派な方々とお会い出来たこと感謝しております。

この先札幌国際親善の集いの活躍そして輪が広がるよう願っております。



25周年に寄せて

理事 渋谷 美代子(若柳 雅継)

札幌国際親善の集い25周年を迎えられました事を心よりお喜び申し上げます。私が国際親善の集いに参加させてもらう様になったのも私の日舞の師匠であります旭雅先生によるお誘いからでした。月日の経つのも早

いもので10年目になります。その間、色々な行事があり留学生や外国の方達との交流がたくさんあり貴重な体験をさせて頂きました。中でも思い出に残っているのが、平成17年の中国(瀋陽・北京)の文化交流の旅に参加させて頂いた事です。楽しい思い出が沢山出来、中国の方達のやさしさにもふれる事が出来ました。最近世界中から争い事等のいやなニュースが入って来ますが、そう言った事がなくなる様皆笑顔で過ごせる平和な世界になる事を願わずにはいられません。そう言った意味からも皆さん健康に留意され、札幌国際親善の集いの輪が広がります事をお祈り申し上げます。



札幌国際親善の集い25周年によせて

理事 野上 光子(藤扇 千女)

チャリティー翔!ぬくもりワールドに誘われて会員となり日本舞踊で出演し翌年は相手と組んでの出演、お弟子さんの出演と回を重ね、次に私が理事として会のお手伝いをし第17回実行委員長の大役を仰せつかり80歳を目前に貴重な体験をすることが出来ました。

このような会で踊ることが出来るのも親が5歳の時から日本舞踊を習わせてくれ戦時中は函館市に疎開をし終戦後昭和21年から小学中学高校と踊りの稽古、中学・高校と三味線の稽古通いでした。東京の大学を卒業し美瑛市岩見沢市と函館から離れましたが休みには稽古に函館まで行ったものです。正派若柳流の名取りになって札幌に転勤になり仕事のため中断してしまいました。

札幌に住むようになって東京から藤扇流の家元の稽古が出来たことを知り入門致しました。梅后流江戸芸かっぱれの家元師匠も東京から札幌に稽古場があることを知り入門致しました。藤扇流もかっぱれも師範名取になり国際親善のような会にはふさわしい踊りに思われます。第18回 ぬくもりワールドでも実行委員長を勤めることになりました。

今後共この会が益々発展するよう若い会員さん理事の方に運営をお願いし、協賛下さる皆様に感謝致します。



札幌国際親善の集い25周年によせて

理事 藤 節子

「札幌国際親善の集い」創立25周年を迎え心よりお祝い申し上げます。私が理事のお仲間に入れて頂き、まだ4年目ですが25年間に携わっている理事の方々に敬意を表したいと思います。世界平和を祈りながら、市民レベルの草の根活動を続けております同会が大きな輪になり市民の方々に知れわたって来ましたこ

とは、大変嬉しく思います。2年前にインドネシアから国際交流の大学教授夫人15名を札幌にお迎えした時、私は3日間札幌、小樽観光に同行させて頂きました。初めて外国人の肌に触れ、言葉は通じませんが、笑顔だけで親善のお役目が出来たように思いました。会員宅での本格的な美しい日本庭園での野点に皆さん大変感銘を受けており、大きな交流の場に参加させて頂き至福のひとつでした。国を超え地球全体を愛する気持ちで、世界中の人達と仲良く手を広げ続けるよう微力ですが、協力してまいります。この会の益々のご繁栄を心より祈念申し上げます。



「札幌国際親善の集い」と私

理事 森 千寿江(藤扇 裕久)

創立25周年誠におめでとうございます。

私が「札幌国際親善の集い」を知ったのは、今から13年前に日本舞踊のご縁で谷口エツ様(現会長)にお目にかかったのがきっかけでした。

それまで「国際親善」には関心の薄い私でしたから、この会の内容もよく分からないまま「ぬくもりワールド」に出演させて頂きました。本番の当日は楽屋も舞台も「国際親善」一色の熱気に包まれ、いかにも嬉しそうに準備を整えた外国の方々が元氣いっばいに舞台に立つ姿を見て、私は感動で胸が熱くなりました。

また、片言の会話であっても、優しく思いやり豊かな方々なのが良く分かりました。

最近の新聞に「インドネシアでは日本や日本の放送番組を紹介する衛星チャンネルを開局した」という記事がありました。きっと、インドネシアの人々は日本に大きな親しみと期待を持っていて下さるのだらうと思います。

これからも「札幌国際親善の集い」の目指すところをより一層理解し、国際交流の活動に微力を捧げて参りたいと思っております。



札幌国際親善の集い25周年によせて

理事 郎 旭輝

国際親善の集いは設立25周年を迎えました。何も分からない留学生だった私に、この会は故郷のような居心地の良さで迎えてくれました。現在理事の末席に名を連ねている私は今、彼らを迎える立場になっています。25周年を迎え、皆様から祝福のお言葉を頂いていますが、これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と感謝しております。これからも皆様のご協力の下、留学生たちが心細い思いをしないよう精進してまいります。

《回想》 創立25周年を迎えて



札幌国際親善の集い設立25周年に寄せて

理事 ジョージ佐藤

これまで永きにわたり札幌国際親善の集いに、ご尽力を注いでこられました谷口良一会長(現在は谷口エツ会長)をはじめ、理事の皆様、役員の皆様、そして会員の皆様にご敬意を表しますとともに、チャリティー翔ぬくもりワールドでの舞台監督ならびに司会進行の大役を若輩者の私を指名していただきましたことに感謝いたしております。

また、記念すべき節目のチャリティーふれ愛フェスティバルでの司会進行を務めさせていただきましたことを心から光栄に思っております。

これからもスタッフとして関わらせて頂けることを誇りに思い、札幌国際親善の集いの今後益々のご発展と、会員の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。



「札幌国際親善の集い」 創立25周年に寄せて

名誉会員 福田 十太郎

札幌国際親善の集いが、創立25周年を迎えられましたことを会員の皆様と共に心よりお慶び申し上げます。またこの度は、地道に草の根活動を続けて参りましたことが、道新ボランティア奨励賞並びに北海道社会貢献賞の受賞に結びつきましたことも併せてお祝い申し上げます次第であります。

これまでを振り返りますと、留学生との野外親睦会、パークホテルでのチャリティーフェスティバル、海外での国際文化交流訪問を通して出逢った多くの人々、楽しく盛り上った行事の数々が走馬灯のように浮かんで参ります。近年は、インドネシアのジョグジャカルタや、札幌と姉妹都市韓国のテジョンと首都ソウルへの国際文化交流の訪問団に参加させて頂くことが出来ました。特に、この度の25周年記念事業で姉妹都市テジョンを訪れて「世界市民交流ハンダマン祭り」「国際フード&ワインフェスティバル」の会場で、市民の皆様と一緒に北海盆踊りを踊ったことや、ソウルで韓国外国語大学校日本語大学の学生達と公演後にお酒を飲みながら交流したことは忘れられない思い出になりました。このような国際文化交流団の実現に当たっては、実行委員の皆様方のご苦勞を乗り越えながらの逐行実現となりましたことに対して感謝にたえません。ここに改めて御礼申し上げます。

現在、国際情勢の変化や自然災害に脅かされるなどの中、国際交流やボランティアのあり方も変化が予想されますが、今後も会員各位の不断の努力と情熱をもって益々ご発展されますよう、ご祈念申し上げます。



「人」が紡いだ会の絆

名誉会員 小田 紘一郎
(北海道新聞・元取締役)

俗に「天」「地」「人」という。物事を成就するのに三者が整わなければ成らぬ道理だ。

国際親善は「人」を得た。日本舞踊人脈である。花柳メ榮(谷口エツ)会長を牽引役として花柳金栄、若柳旭雅、所司昭子、新家比佐子、渋谷美代子、野上光子女史。絢爛たる顔触れ。踊りがあれば言葉は要らぬ。外国人の前で最高の「お・も・て・な・し」となる。

支えたのは故谷口良一、友人の福田十太郎、大西勲、近藤和雄各氏、田尻俊一夫妻、小田垣美恵子氏その他多彩。坂東幸男、時田純子、故荒木和子諸氏も忘れる訳にゆかない。

「地」といえば、国際都市・札幌だ。北のフロンティアとして、その名も高い。

「天」としては、平成の25年の時代は、そのまま会の歴史でもある。その間国際紛争、凄惨なテロ、虐殺もあった。しかしこの会は「人」を得てその和を基に、静かに、丁寧に「平和」の仕事をこなしてきた。

新たな四半世紀が始まる。人を得て前進だ。



「草の根の愛、努力が開花」

名誉会員 新蔵 博雅
(北海道文化放送・前社長)

「草の根の国際交流」とは、実に響きの良い言葉ですが、実践するには多くの困難が付きまとうことでしょう。

「札幌国際親善の集い」の皆さんは、それを4半世紀以上も継続し、確かな実績を築いてきました。

私は北海道新聞勤務だった時代に、道新野生生物基金への寄付をいただいたご縁で、しばしば「集い」の行事に顔を出しておりますが、いつも日本舞踊や外国の歌、踊りなど多彩なプログラムに驚きと感動を覚えます。また外国からの留学生の方たちと談笑できるのも得がたい機会です。そして結びには「北海盆唄」の輪が会場いっぱいになり、皆さんの笑顔が弾けます。「草の根」の素晴らしさを実感できる時です。

外国からのゲスト、留学生たちは、札幌の人々の心の温かさを知って世界各地に散っております。彼らの胸中に札幌の好まして印象が生き続けることでしょう。「集い」の皆さんの愛、努力は世界で花開いております。



札幌国際親善の集い25周年によせて

北大留学生 中国 楊秋一

私は中国の青島から来ました。札幌に来て札幌が大好きになりました。札幌は住みやすい街ですし、札幌の人はとてもやさしいからです。特に札幌国際親善の集いの皆さんはとても親切です。私は今まで何度もチャリティーフェスティバルに参加しました。日本や他の国の歌や踊りがあり、中国の楽器二胡の演奏もありました。野外バーベキューも楽しかったです。この会を通して文化に触れるだけではなく、皆さんの暖かさにも触れることが出来ました。ありがとうございます。



札幌国際親善の集い25周年によせて

北大留学生 韓国 崔允禎

私の国、韓国と日本はいろいろな問題を抱えています。殆どの人は報道を通して相手の国のことを知るだけなので、誤解も多くあると思います。大切なことは自分の目を見て、実際にその国の人たちと触れ合うことだと思います。私はこの会を通じて、日本人の暖かい心に触れることが出来ました。

国際親善にはこのような交流が必要です。頑張ってくれている皆様、ありがとうございます。そして25周年おめでとうございます。



札幌国際親善の集い25周年によせて

北大留学生 ピーラ

札幌国際親善の集い25周年、おめでとうございます。この会に参加して、留学生同士、同じ国の仲間としか交流がなかった私にとってもたくさんの経験と友人を与えてくれました。ふれ愛フェスティバルやお花見等、とてもたくさんの思い出があります。楽しかったです。たくさんの人達が頑張ってくれたおかげだと思います。皆さんありがとうございます。そしてこれからもよろしく願います。私もできるだけ協力して行きたいです。



いつもありがとうございます

小学3年生 ダニシュ エカダニア

今までお世話になりました。日本とインドネシアのおどりはちがっていました。たにぐち先生のおひなさまはとてもきれいでした。先生はよくつけものを持ってきます。私はきゅうりのつけものが1番好きです。これからもよろしくおねがいします。



楽しみに踊ります

北大留学生 パウリナドゥヒータアンディタ

私はディタと呼ばれています。インドネシアのジョグジャカルタから来ました。国では日本の文化が有名です。

日本の料理の店もインドネシアにたくさんあります。札幌に来た時は「ここで寒いですね」と思いました。寒いですが、雪が好きです。札幌の人々もあたたかいです。今まで、色々なものがありました。その一つであるものは日本舞踊です。谷口先生に日本舞踊を教えてもらっています。日本舞踊とインドネシアの踊りが全然違います。それでも、日本舞踊がきれいだと思います。踊る音楽もいいです。ですから、日本舞踊が上手になりたいです。一生懸命に頑張ります！



DREAM COME TRUE

北大留学生 リナ・マハルディアニ

私はJASSOという北海道大学の交換留学制度を利用して2009年10月に初めて日本に来ました。そのとき私は6ヵ月間滞在し、研究を行いました、日本の文化も体験しました。インドネシアは熱帯国で雪がないため、滞在中に北海道の冬の雪を初めて体験しました。それは印象的で貴重な体験でした。そして、私は再び日本に戻ってくると自分自身に約束し、北海道大学環境科学院の博士課程の学生として戻ってきました。日本に戻ってきて私はたくさんの伝統行事や祭りを楽しみました。例えば、ひな祭り、茶道、花見、雪まつりそして日本舞踊です。"I do believe that dreams come true."



イラスト：ダニシュ エカダニア

札幌国際親善の集い年譜《25年史》

■1989年（平成元年）

- 6月21日 札幌国際親善の集い設立総会〈札幌第一ホテル〉
- 8月5日 札幌市1万人群舞サマーフェスティバル参加(4ヵ国25名参加)
- 8月20日 札幌市夏祭り仮装盆踊り準優勝（9ヵ国25名参加）
- 9月16日 札幌を聴く会（札幌手稲コンサート実行委員会）
- 11月5日 第1回国際チャリティーフェスティバル〈札幌パークホテル〉

■1990年（平成2年）

- 1月27日 新年会〈札幌第一ホテル〉
- 6月10日 第1回国際親善ハイキング（20カ国348名参加）〈国営滝野すずらん丘陵公園〉
- 7月7日 平成2年度総会〈札幌第一ホテル〉
- 8月4日 札幌市1万人群舞サマーフェスティバル参加（20名参加）
- 8月20日 札幌市夏祭り仮装盆踊り優勝（13ヵ国35名参加）
- 9月10日～18日 札幌姉妹都市提携記念
国際親善の集い「ノボシビルスク（ロシア連邦）友好交流訪問団」訪口
- 11月5日 第2回国際チャリティーフェスティバル（25カ国620名参加）〈札幌パークホテル〉

■1991年（平成3年）

- 1月 新年会〈フジヤサントスホテル〉
- 2月6日 「ノボシビルスク経済親善使節団」来札 経済セミナー開催
- 3月24日 洞爺湖「健康館」1泊研修 各国総領事夫人・女性会員（4ヵ国24名参加）〈洞爺健康館〉
- 6月23日 第2回国際親善ハイキング（20カ国）〈国営滝野すずらん丘陵公園〉
- 7月21日 平成3年度総会
- 8月3日 札幌市1万人群舞サマーフェスティバル参加
- 8月20日 札幌市夏祭り仮装盆踊り特別賞
- 11月5日 第3回国際チャリティーフェスティバル〈札幌パークホテル〉

■1992年（平成4年）

- 1月18日 新年会〈フジヤサントスホテル〉
- 5月 日中国交正常化20周年記念「国際親善の集い文化交流団」訪中
- 6月21日 第3回国際親善ハイキング〈国営滝野すずらん丘陵公園〉
- 7月11日 平成4年度総会〈フジヤサントスホテル〉
- 7月22日 21世紀友情計画（国際協力事業団）カルチャースクール出演
- 8月8日 札幌市1万人群舞サマーフェスティバル参加
- 8月30日 朝里日帰り親睦会（15ヵ国58名参加）〈マリンヒルホテル〉
- 11月5日 第4回国際チャリティーフェスティバル（603名参加）〈札幌パークホテル〉
- 11月10日 サラエボの子どもを救おう オリンピックエイド募金

■1993年（平成5年）

- 2月6日 新年会〈フジヤサントスホテル〉
- 3月 中国総領事館「中国料理の夕べ」（43名参加）
- 4月17日 平成5年度総会〈札幌国際プラザ〉
- 6月 ロシア連邦ヤクーツク市文化交流訪問団訪口
- 8月17日 札幌市1万人群舞サマーフェスティバル参加
- 8月28日 国際納涼大会〈氷雪の門〉
- 9月12日 '93ノースチャリティーフェスティバル〈テルメインターナショナルホテル〉
- 11月5日 創立5周年記念国際チャリティーフェスティバル〈札幌パークホテル〉

札幌国際親善の集い年譜《25年史》

■1994年（平成6年）

- 4月16日 平成6年度総会
- 6月12日 第4回国際親善ハイキング（142名参加）
- 8月1～9日 札幌市・ポートランド市姉妹提携35周年記念夏祭り（11名参加）
- 8月6日 '94大群舞北海盆踊り1万人大会参加
- 11月17日 創立5周年記念フェスティバル

■1995年（平成7年）

- 4月9日 平成7年度総会（42名参加）
- 6月25日 第5回国際親善ハイキング（139名参加、外国人50名）
- 7月8日 札幌・瀋陽姉妹締結15周年記念行事参加（現地瀋陽市水害の為中止）
- 10月6日 国際交流座談会（27名参加、外国人留学生12名）
- 11月23日 ふれ愛ワールドフェスタ（536名参加、外国人103名）

■1996年（平成8年）

- 2月4日 新年会（117名参加、外国人37名）
- 通年事業 「カルチャー教室」
- 4月14日 平成8年度総会（45名参加）
- 5月16日 国際座談会（18名参加、留学生10名、当会理事8名）
- 5月24日 第1回国際親善仮装大会（233名参加、外国人30名）〈ロシア領事館〉
- 6月9日 第6回国際親善ハイキング（178名参加、外国人67名）
- 7月26日～8月5日 キルギスタン友好訪問（11名参加）
- 11月6日 第8回チャリティー国際'96ふれ愛フェスティバル（498名参加、外国人102名）

■1997年（平成9年）

- 2月8日 第1回ニューイヤー・インターナショナル・フォーラム（140名参加、外国人15名）
- 通年事業 「カルチャー教室」
- 4月13日 平成9年度総会（42名参加）
- 5月2日 日中友好25周年記念の夕べ（175名参加、外国人25名）
- 6月18日～25日 ミュンヘン友好親善訪問（10名参加）
- 6月25日 第7回国際親善ハイキング（120名参加、外国人20名）
- 10月28日 第9回チャリティー国際'97ふれ愛フェスティバル（592名参加、外国人155名）

■1998年（平成10年）

- 2月15日 第1回ニューイヤー外国人の日本語スピーチコンテスト（177名参加、外国人27名）
- 通年事業 「カルチャー教室」
- 4月12日 平成10年度総会
- 6月21日 野外親睦会
- 8月3～7日 サハリン文化交流
- 10月30日 札幌国際親善の集い10周年記念ふれ愛フェスティバル
- 11月 チャリティーぬくもり舞人

■1999年（平成11年）

- 2月 ニューイヤー・フェスティバル
- 4月 平成11年度総会

札幌国際親善の集い年譜《25年史》

- 6月27日 第9回国際野外親睦会
8月24～9月4日 ブラジル・パラグアイ北海道交流センター落成記念式典出席
8月6日 第11回札幌国際親善の集い'99ふれ愛チャリティーフェスティバル
11月 第3回チャリティーぬくもり舞人

■2000年（平成12年）

- 2月5日 2000年ニューイヤーフォーラム講演会
4月 平成12年度総会
5月14日 第4回2000年チャリティーぬくもり舞人
7月23日 第10回国際野外親睦会
10月23日 第12回札幌国際親善の集い'00ふれ愛チャリティーフェスティバル

■2001年（平成13年）

- 1月21日 2001年ニューイヤーフォーラム講演会
4月 平成13年度総会
5月20日 第5回2001年チャリティーぬくもり舞人
7月11日 第11回国際野外親睦会
10月30日 第13回札幌国際親善の集い'01ふれ愛チャリティーフェスティバル

■2002年（平成14年）

- 1月13日 2002年ニューイヤーフォーラム講演会
4月21日 平成14年度総会
6月2日 第6回2002年チャリティーぬくもり舞人
6月4～11日 日本キルギス共和国文化交流でキルギス訪問
7月21日 第12回国際野外親睦会
9月7～13日 日中国交正常化30周年記念 日中女性大会（北京）北海道代表として参加
8月22日 川口外務大臣と語る夕べ・ミーティング参加
10月10日 第14回札幌国際親善の集い'02ふれ愛チャリティーフェスティバル

■2003年（平成15年）

- 1月25日 創立15周年記念ニューイヤー講演会
4月 平成15年度総会
5月18日 第7回2003年チャリティー翔！ぬくもりワールド（15周年に改名）
7月 第13回国際野外親睦会
10月29日 第15回札幌国際親善の集い'03ふれ愛チャリティーフェスティバル

■2004年（平成16年）

- 3月14日 留学生座談会（札幌第一ホテルにて、当会理事代表と5ヵ国 中国・インドネシア・キルギス・チュニジア・モロッコ留学生）
4月25日 平成16年度総会
6月6日 第8回2004年チャリティー翔！ぬくもりワールド
7月12日 浅井学園大学と韓国培花女子大学との姉妹提携10周年記念 日舞カルチャー教室特別講義
7月18日 第14回国際野外親睦会（札幌円山動物園・宮の森ガーデン）
16ヵ国の外国人35名 総計140名の参加
10月27日 第16回札幌国際親善の集い'04チャリティーふれ愛フェスティバル
（外国人100名 総計600名参加）

札幌国際親善の集い年譜《25年史》

■2005年（平成17年）

- 3月20日 「バングラディッシュ札幌支部10周年記念祝賀会」クラーク会館
4月24日 平成17年度総会
4月29日 北海道インターナショナルスクール小・中学生150名に日本舞踊を体験
5月29日 第9回2005年チャリティー翔！ぬくもりワールド（かでの2・7）
7月10日 第15回国際野外親睦会（札幌円山動物園・宮の森ガーデン）
120名の参加
7月11日 江別市浅井学園にて韓国培花女子大学生50名に花柳×榮日舞特別講演
10月27日 第17回札幌国際親善の集い'05チャリティーふれ愛フェスティバル
600名の参加
11月2～9日 「札幌－瀋陽姉妹都市提携 25周年記念行事」札幌国際親善の集いから27名の参加

■2006年（平成18年）

- 1月22日 第2回札幌国際親善の集い新春国際交流座談会
15ヵ国50名参加ム（札幌第一ホテル）
2月26日 瀋陽ホームビジットでお世話になった北大留学生郎旭輝さんの両親来札し歓迎会
（札幌第一ホテル）
2月26日 札幌姉妹都市クラブ（瀋陽・ミュンヘン・ポートランド・ノボシビルスク）の要
請で谷口エツ副会長瀋陽市訪問につき発表 札幌市民70名参加
4月30日 平成18年度総会
6月4日 第10回2006チャリティー翔！ぬくもりワールド
600名参加（かでの2・7）
7月2日 第16回国際野外親睦会（札幌円山動物園・宮の森ガーデン）
外国人68名 総計85名参加
7月11日 「日韓文化交流事業」浅井学園大学短期大学と韓国培花女子大学との姉妹提携継
続事業に協力参加
7月18日 同上閉校式・交流パーティに4名参加
10月23日 第18回札幌国際親善の集い'06チャリティーふれ愛フェスティバル
600名参加（かでの2・7）

■2007年（平成19年）

- 4月30日 平成19年度総会 札幌第一ホテル 43名参加
6月24日 第11回2007チャリティー翔！ぬくもりワールド（かでの2・7）
7月2日 北翔大学の特別講師として、北方圏学術センターにて日本舞踊の基本・型・小道
具を利用した実技体験を通じ日本文化に触れた
7月12日 「第13回日韓文化交流事業」江別北翔大学講堂で韓国培花女子大学40名に日舞指導
10月23日 第19回札幌国際親善の集い'07チャリティーふれ愛フェスティバル
500名参加（札幌パークホテル）

■2008年（平成20年）

- 2月4日 国際親善の集い新年会（プリンスホテルパミール館）
4月27日 平成20年度総会 札幌第一ホテル 34名
5月25日 第12回2008チャリティー翔！ぬくもりワールド（かでの2・7）
10月6日 第20回札幌国際親善の集い'08チャリティーふれ愛フェスティバル 600名参加
10月24日 札幌国際親善の集い20周年記念 道新荘ぶんぶんの湯一泊交流会 20名参加
11月13日 ふれ愛・フェステ反省会&忘年会 15名参加（札幌パークホテル）

札幌国際親善の集い年譜《25年史》

■2009年（平成21年）

- 2月15日 新年茶話会&国際座談会（札幌第一ホテル）
茶話会（70名）国際座談会（12ヵ国）
○自国の家庭関係について
○札幌に住んで感じたこと
- 4月26日 平成21年度総会 札幌第一ホテル 38名
- 5月31日 第13回チャリティー翔！ぬくもりワールド（かでの2・7）
- 7月26日 国際野外親睦会 澄川紅桜公園 46名（内、外国人30名）
- 8月10～17日 インドネシア訪問15名参加、2か所会場で文化交流公演、マスコミに取り上げられる
- 10月5日 第21回札幌国際親善の集い'10ふれ愛フェスティバル 470名参加（札幌パークホテル）

■2010年（平成22年）

- 4月25日 平成22年度総会 かでの2・7 35名
- 5月15日 第14回チャリティー翔！ぬくもりワールド（かでの2・7）
- 10月4日 第22回札幌国際親善の集い'10ふれ愛フェスティバル
470名参加（札幌パークホテル）

■2011年（平成23年）

- 2月13日 新春国際スピーチ大会と新年の集い 80名（留学生13ヵ国）
札幌第一ホテル
- 4月29日 平成23年度総会 札幌第一ホテル 38名
- 5月22日 第15回チャリティー翔！ぬくもりワールド（かでの2・7）
- 10月4日 第23回札幌国際親善の集い'11ふれ愛フェスティバル 460名参加（札幌パークホテル）

■2012年（平成24年）

- 4月29日 平成24年度総会 札幌第一ホテル 36名
- 5月20日 インドネシア共和国ジョグジャカルタ市&札幌市国際文化交流（かでの2・7）520名
夜サッポロビール園にて打ち上げ 65名
- 8月29日 インドネシア文化交流でお世話になった古平訪問、古平国際交流の会と親睦を深める
- 10月4日 第24回札幌国際親善の集い'12ふれ愛フェスティバル
441名参加（札幌パークホテル）

■2013年（平成25年）

- 1月10日 花柳メ榮 札幌文化団体協議会文化功労賞受賞
- 4月29日 平成25年度総会 札幌第一ホテル 46名
- 5月19日 第17回チャリティー翔！ぬくもりワールド（かでの2・7）
- 10月3日 第25回札幌国際親善の集い'13ふれ愛フェスティバル 440名参加（札幌パークホテル）
- 10月5～9日 札幌・ソウル・大田（テジョン）国際文化交流 4泊5日 18名参加

表彰

表彰状と楯

平成25年9月[道新より]		〈中標津会館にて〉
●「第37回 道新ボランティア奨励賞」	全道より10団体選考される	
平成25年12月[北海道知事より]		〈知事室にて〉
●「平成25年度 北海道社会貢献賞」	“国際協力功労者”	

■2014年（平成26年）

- 3月31日 創立25周年記念誌 発行

思い出の25年



1988年(昭和63年)8月
仮装パーティ



1990年(平成2年)6月10日
第1回国際親善ハイキング
エリザベータさん



1991年(平成3年)7月21日
総会 留学生踊り発表



1993年(平成5年)7月
ヤクツク市 交流訪問 市長へ報告する



1993年(平成5年)
8月23日
国際納涼大会 氷雪の門



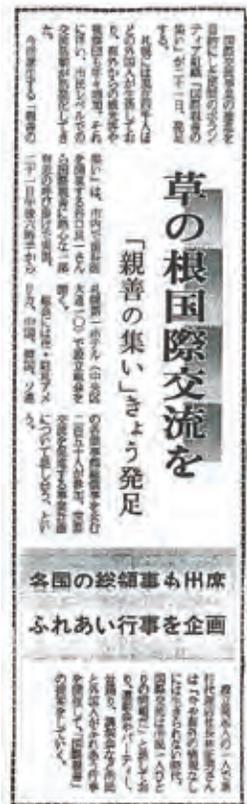
1988年(昭和63年)7月
ロシア領事館にてガーデンパーティ



1988年(昭和63年)
7月
ロシア領事館にて



1991年(平成3年)
1月 新年会
左から初代会長、桂市長、堂垣内知事夫人



1989年(平成元年)
6月21日 北海道新聞

思い出の25年



1998年(平成10年)8月3日～7日
ユジノサハリン・コルサコフ文化交流の旅
ユジノサハリンスク日本美術館に振袖寄贈
(宇山さん)



1998年(平成10年)6月21日 紅桜公園にて野外親睦会



1998年(平成10年)12月15日
第一回ニューイヤー外国人日本語スピーチコンテスト
京王プラザホテル



1998年(平成10年)6月21日
紅桜公園のお茶室にて各国留学生



2000年(平成12年)10月23日
ふれあいフェスティバルにて着付披露



1999年(平成11年)11月 ぬくもりマインド
氷雪の門にて 南波チーム



1999年(平成11年)4月17日
総会駐札幌米国総領事W・マイケル・メザープ氏に講演で
花束を贈る大井理事と初代谷
口会長



2007年(平成19年)1月22日 北海道新聞



2009年(平成21年)7月20日
野外親睦会 紅桜公園



2009年(平成21年)10月5日
ふれ愛・チャリティーフェスティバル
札幌パークホテル



2009年(平成21年)2月15日
新年茶話会 アトラクション



2009年(平成21年)2月15日 新年茶話会 札幌第一ホテル



2010年(平成22年)3月8日 国際婦人デーに招待を受ける
中国領事館



2010年(平成22年)2月21日 アリさん一家と

思い出の25年



2010年(平成22年)10月4日
ふれ愛、チャリティーフェスティバル
札幌パークホテル



2011年(平成23年)2月13日
新春国際スピーチ大会と新年の集い



2012年(平成24年)8月29日 ふるびら訪問



2013年(平成25年)7月12日
北翔大学 第16回韓国培花大学 学生と



2013年(平成25年)10月3日
ふれ愛、チャリティーフェスティバル 札幌パークホテル



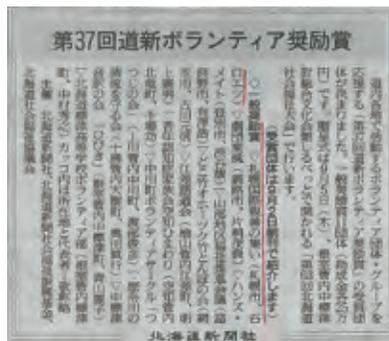
2014年(平成26年)3月13日
10年来お世話になった
サープリン総領事へ感謝状と
記念品を贈る



2012年(平成24年)5月21日 北海道新聞



2012年(平成24年)10月5日 北海道新聞



2013年(平成25年)8月22日 北海道新聞



- 2013年(平成25年)10月4日 北海道新聞
 札幌国際親善の集い設立25周年記念
 ★平成25年10月3日 於パークホテル
- ・440名 出席
 - ・駐在札幌中国総領事 許金平様 御祝辞
 - ・衆議院議員横路孝弘夫人横路由美子様御祝辞
 - ・北海道副知事 御祝辞
 - ・札幌市副市長 御祝辞
- 6時より9時迄 出演者多勢、北海道盆踊りで終了
- ★平成25年10月6日 設立25周年記念
- ・韓国大田市(札幌市と3年前姉妹提携)野外祭典ステージで発表
 - ・韓国ソウル市10月8日 日本語大学講堂で発表
- 2都市にて文化交流18名で出席 歓迎される



2006年(平成18年)1月22日 北海道新聞

茶の湯で交流のお手伝い

会員 栗井 幸子

「札幌国際親善の集い」に谷口エツ会長の紹介で入会して間もなく平成21年8月、文化交流でインドネシアに同行させて頂き、その際日本の伝統文化である茶の湯のお手伝いをするようになりました。同行会員と共に薄茶のお点前で一盤を楽しんで頂きました。



2012年6月
インドネシアガジヤマダ大学学長御一家5名、谷口会長、板東前理事長、
手伝いの門弟と栗井

平成24年5月、インドネシアのガジヤマダ大学教授夫人

15名、私宅にてお茶会と日本とインドネシア両国の料理による昼食会のお手伝いをするようになりました。茶は門弟、料理は会員メンバーインドネシアよりの北大の留学生総勢50人程が交わり和やかな雰囲気喜んでお帰りになられたことです。

ご縁で谷口会長のお手伝いをさせて頂き幸せでございます。お元気で活躍なさる谷口会長のすべてに敬意を表すには、今後会員の一人としておもてなしの心で微力ながら交流の架け橋としてお手伝いさせて頂きたいと念じております。



インドネシアガジヤマダ大学 学長夫人、教授夫人と栗井



2012年5月19日
晴れた日ざしの中、お手前の若い門弟2人



インドネシア教授夫人の踊り 2012年5月20日 かでる2・7



お手前を見入ってお菓子をいただいています



インドネシア札幌訪問者と共に 小樽貴賓館



インドネシア学長夫人と札幌市訪問



インドネシア知事夫人と



インドネシアにて学長夫人と遺跡前にて



ブンガワンソロの川にて 出演者の方々



インドネシア学長夫人と記念品交換



在郷のにごり酒 インドネシアで踊る



インドネシアにて 訪問者と学長夫人達

韓国 文化交流訪問 終えて

花柳七智紫 (岩澤 智子)

25周年記念の韓国との文化交流の旅が大成功の結果で終えたことにお祝いを申し上げます。

私たち、花柳流の日本舞踊のメンバーは5名で参加させてもらいました。

初めて、国際交流に参加するメンバーもいましたが、韓国で喜んでもらえるように、みんなで一生懸命稽古して、準備して参加いたしました。

韓国では、ソウルとテジョンの2か所で日本舞踊を披露させてもらいました。

たくさん思い出はありますが、テジョンの大きな野外ステージには現地に行ってビックリしましたし、ソウルの国際日本語大学の講堂で学生さんとの交流ができたことにも、嬉しい驚きでいっぱいでした。他ではできない体験をさせてもらったことに感謝いたしました。

この旅は韓国で出会った人々の心からのもてなしに感動し、国際親善の一緒に行った方たちの温かさに助けられ、人とのつながりの大切さを学んだ旅となりました。

今後の国際交流につながる大きな成果を私たちひとりひとりの胸に刻み韓国が近い国になったことを実感して帰ってまいりました。ありがとうございました。

国際文化交流の旅に参加して～韓国

桃光会 立島 幸枝

私は花柳七智紫先生からのお誘いを受けて、日本舞踊のメンバーの一員として、昨年の文化交流の旅に初めて参加させて頂きました。まだまだ踊りの経験も浅く未熟なので不安もありましたが、出発前の顔合わせでお会いした谷口会長をはじめ、皆様がとても温かい雰囲気なので安心して参加することができました。

韓国ではテジョンとソウルの二ヶ所で、互いの国の伝統舞踊を披露し合い、会食などで交流を深めました。本番の日は朝から緊張しましたが、無事に終えた後に頂く韓国の美味しいお料理は格別でした。民族村や世界遺産のお城などの観光や、夜は数人でホテル周辺を散策したり、大浴場では見渡す限り垢すりをする人々の光景にあ然とした…といろいろな角度から文化に触れて楽しむことができました。最終日には韓国の家庭料理を頂くホームビジットも体験させて頂き、まさに国際交流5日間の旅!!でした。

一生の思い出となる貴重な経験をさせて頂き、感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

札幌国際親善の集い

フラスタジオ ナオ 湊 尚美

札幌・ソウル・テジョン国際文化交流に参加させて頂きました。

テジョンでは、ステージで舞踊を発表させて頂き韓国外国語大学校日本語大学では学生さん達の伝統舞踊を見せていただいて、その後には学生さん達といろいろお話もでき、とても良い交流ができたと思います。

韓国の皆様はとても親切で、町並みもバスの窓から眺めて、日本によく似ていると思ひながら、看板などが韓国語でなければ日本のようでした。

4泊5日、とても勉強になりましたし、兵役に対しての親としての心も知りました。観光で訪問する時とちがい、一歩踏み込んで接する事で、感じ方、思いなどわかる事もたくさんありました。ありがとうございました。

韓国文化交流訪問の旅

フラスタジオ ナオ 石黒 泰子

2013年10月9日最終日。ソウルの宮殿「景福宮」に私たちは来ていました。

まぶしいほどの澄み切った、雲ひとつない美しい青い空！ 札幌国際親善の集い25周年記念国際文化交流の旅の成功を、その美しい空は祝福しているようでした。

ハンマダン祭りでは、雨空を気にしながらブルーハワイを披露させて頂き、その後、国境を越えてみなさんと踊った「北海盆踊り」。

ソウルでは元総領事夫人・お母様による、温かなお・も・て・な・し。

皆にプレゼントして下さったバラの花は、谷口会長への深い友情を感じました。

外国語大学校日本語大学による文化交流。大学生による情熱的で若々しさも感じた民族演奏。そして、その後の夕食会。

夕食会では、マスコミで見聞きする両国間とは無縁の純粋な人間同士の交流でした。小雨降る中、外まで私たちを見送って下さったことは特に強く心に残りました。

家庭訪問では螺鈿の家具にも驚きましたが、あの家庭の手作りの味のおいしさといったら…!!

女優 姜富子さんによる唄も心に残ります。

新たな出会いと心の交流。私にとって、かけがえのない財産となる出来事でした。

色々準備いただいた皆さまに感謝致します。カムサハムニダ。

韓国訪問を終えて

フラスタジオ ナオ 奥泉 美代子

札幌国際親善の集い25周年記念行事の韓国大田「世界市民交流ハンマダン祭り」とソウル韓国外国語大学校日本語大学での学生さん達との交流に初めて参加致しました。大田では市長さん市職員さんとの交流、公園内で開催されました"ハンマダン祭り"では、一時雨の為心配されましたが、私達フラ・グループの踊りも無事に披露する事が出来、大役を果たす事が出来ました。

又ソウルでの交流は、お聞き致しますところ十年の歳月を掛けて、やっと実現する事が出来たとお話でした。韓国外国語大学校日本語大学との交流で若い学生さん達と一緒に輪になって日本の北海盆踊りを繰り返し踊った事が懐かしく思い出されます。谷口会長様のご尽力で元札幌韓国総領事館長ご夫人様のお母様が経営されてる「東天好」での晩餐会、韓国の家庭を訪問する等一般的な観光旅行と違う体験出来ない有意義な旅行でした。有難うございました。

これからも札幌国際親善の集いが増々世界各国との交流で活動される事と思います。

韓国訪問を終えて

フラスタジオ ナオ 村上 知佐子

「国際親善の集い」の韓国訪問の旅行が出来ることになり、以前から韓国には行ってみたいと思っていましたので、楽しみにしていました。テジョンでの「ワインと食の祭典」に参加させてもらい、会場の大きさにびっくりし、この様な舞台でフラダンス

を踊らせて頂ける事に感激しました。

ソウルでの韓国外国語大学校日本語大学での学生さんとの交流も楽しく、そこで会長さんのご指導で皆さんと北海盆踊りを踊り、学生さんとの会食も思い出になりました。

いろいろな人とお知り合いになり、韓国の文化も学びながら、観光し、個人旅行では味わえない旅行だったと思います。又、最終日の韓国の家庭料理の味とおもてなしは本当に最高でした！札幌国際親善の会の25周年の文化交流に参加することができた事に感謝いたします。ありがとうございました。

息子のいる国

フラスタジオ ナオ 佐藤 麻美

行ってみたかった国でした。

その息子は礼儀正しく、勉強熱心。努力を惜しまず兄達の言う事を良く聞く子です。

ひよんな事から仕事から少し離れた時期が有り、母は心配しました。

気になって仕方ありません。

しかし彼はしっかりした大人になって帰って来ました。

今まで一番下の弟として兄達の後ろに隠れ遠慮していた彼ではありません。

ひとりのアーティストとして自分の役割を自覚しひたむきにステージに立っています。

音楽や踊りに国境はありません。

素晴らしいものに感動する心は万国共通。

楽しい気持ちが踊りの輪になります。

息子と同じ空気をすってるという、暖かい気持ちで一杯の韓国でした。



吉正本様の招待で韓国料理を堪能



ソウル韓国外国語大学校のステージにて

韓国訪問・公演

「札幌国際親善の集い」とのご縁

韓国外国語大学校 日本語大学 学長 崔在喆

「札幌国際親善の集い」の皆様が昨年10月、韓国外大へ訪問され、日本語大学の学生と伝統舞踊等の<韓日文化交流会>を開きましたのが、抑のご縁の始まりでした。その後、谷口えつ会長様よりのご丁寧な礼状と、お礼までの外大創立記念ラベル貼りのワインと大吟醸の地酒のお土産の交換があり、年賀状をお送りしたところ、会長から<札幌雪祭り>へのご招待を受けることになりました。

この度の「札幌国際親善の集い」のご招待による札幌ご訪問の時は、皆様の行き届いたご歓待と充実したスケジュールに、深甚なる感謝のお言葉を申し上げます。壮大な雪の建造物と道路沿いに高く積もった雪や、滑り止めに靴に着用して歩いた体験、肌寒くても爽快だった夜のすすきの通りの散歩に、色鮮やかな魚の入った<氷の彫刻展>の観覧など、新たな思い出を作ることができました。

また、北海道大学の杉浦秀一留学生センター長の交換留学等のご説明から、札幌市の今井啓二国際部長の大田との姉妹都市間交流のお話、北海道国際交流・協力総合センター高橋了専務理事との文化・文学に関する幅広いご歓談、駐札幌大韓民国総領事館鄭煥星総領事とのサッポロビール園での韓日交流の現況のお話等を、伺うことが出来まして非常に有意義な機会でした。

別れのパーティで、私達家族3人のために、ご一同は日本舞踊(花柳流・若柳流・藤扇流)等の特別公演を披露下さり、感動致しました。私たちは日本の「四季の詩」を歌い、ささやかな返礼としました。今度の旅行は家族も大変喜んでおり、東京生まれの息子は32歳の誕生日を札幌で迎え、また、素敵なお土産まで頂きまして、記念になり、何時までも記憶に残ることでしょう。このような民間レベルの交流は友好の進展にとっても役に立つものと信じております。これからも韓日相互の理解と親善を発展させるためにお互いに協力して参りたいと思います。

帰りの日の午前中には、北海道立文学館を見物し、特別展示「荒巻義雄の世界展」を観て、石川啄木の短歌、<しんとして幅広き町の秋の夜の玉蜀黍の焼くるにほひよ>を覚え、20数年前の夏の<札幌ビール祭り>の見物を兼ね、函館の啄木ゆかりの地を訪ねた時の思い出が浮かび上がりました。



北大留学生センター長杉浦様を表敬訪問



札幌市国際交流部長
表敬訪問



ソウルにて
学長と記念品交換

「札幌国際親善の集い」創立25周年を記念致し、更なるご発展と皆さまの益々のご健勝をお祈り申し上げます。

『札幌国際親善の集い 創立25周年記念誌』寄稿、2014年3月31日。



韓国のワインと食の祭典会場にて



学長より感謝状と記念品を18名全員に頂いた



韓国のワインと食の祭典会場ステージ



大田市より昼食会のご招待を受ける



大田市助役さん達と



花柳七智紫社中



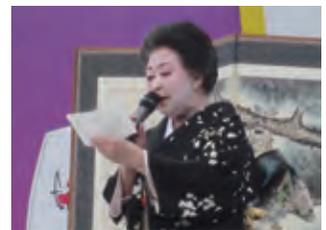
韓国文化交流出演者一同



ホームビジットで
御馳走になった吉さんと



景福宮、勤政殿にて、出演者一同



メッセージを読み上げる谷口会長



ソウル韓国外国語大学の
学生チームと出演者

初代会長 谷口良一氏をしのんで



初代谷口会長と韓国総領事



シャーロフ総領事、エリザベータ夫人と初代谷口会長



国際ハイキングで滝野すずらん公園にて



札幌市桂市長より感謝状



平成6年8月アメリカポートランド文化交流



平成9年6月ドイツミュンヘンホームビジット街並散策



97年ふれ愛、フェスティバルで挨拶に立つ初代谷口会長



国際ハイキング、中国総領事館の方と

札幌国際親善の集い 会則

第1条 (名称・事務局)

本会は「札幌国際親善の集い」と称し、事務局を附則で定めるところにおく。

第2条 (目的)

本会は会員相互の友情と人間愛に基づく国際交流活動の推進により、国際間の相互理解と国際親善の高揚につとめ、もって世界平和の進展に寄与することを目的とする。

第3条 (事業)

本会は前条の目的を達成するためにつきの事業を行う。

1. 札幌市及びその近郊に在住する海外よりの留学生・在留者又は来訪者に対し、目的を達成するために可能な助力又は援助。
2. 国際フェスティバル チャリティーディナーショー。
3. 国際親善野外活動。
4. 札幌市その他団体主催の行事で国際化に資するものへの参加・協力・後援。
5. 海外との文化交流親善のための人材派遣、ホームスティの斡旋。
6. 講演会、研究会等。
7. 懇親会、見学会、日本文化の紹介、ホームパーティー等。
8. 歓迎会、送別会、その他随時の催物。
9. 会報の発行。
10. その他本会の目的を達成するために必要な事業。

第4条 (会員)

1. 本会の主旨に賛同し会員1名以上の推薦により入会を申し出、本会が入会を認めたものをもって会員とする。
2. 会員を分けて、正会員(個人及び法人)、名誉会員、会友及び顧問とする。本会の団体入会については法人に準ずるものとする。
3. 正会員は所定の入会金及び会費を納入した日をもって会員権を取得する。但し年会費2年分を滞納したものは正会員の資格を失う。
4. 名誉会員は永年本会の理事役員として在籍し、本会に対する貢献が著しく顕著であったもので、理事役員会が指名したものである。
5. 会友は本会の理解者であって、その事業及び行事に随時参加する意志のある留学生及び在留外国人等とし、理事役員会が承認したものである。
6. 本会に顧問(若干名)をおくことができ、理事役員会で承認する。
7. 正会員は、会長宛に退会届(書面)を提出することによって本会を退会することができる。但し、滞納した会費その他の未払い金がある場合は、これを完済しなければならない。退会に当たって退会者は本会における一切の権利を放棄するものとする。

第5条 (役員)

本会につきの役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 2名
3. 理事長 1名
4. 副理事長 2名
5. 統括委員長 3名
6. 事務局長 1名
7. 理事 若干名
8. 会計監査 2名

第6条 (役員と分掌と任務)

役員の方掌と任務は次の通りとする。

1. 会長は会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、代行する。
3. 理事長は理事役員会を主宰し、その運営にあたる。
4. 副理事長は理事長を補佐し、代行する。

5. 統括委員長は細則に定める各委員会を統括し、事業の具体的運営にあたる。
6. 事務局長は本会の事務を統轄し、事務一般の運営にあたる。
7. 理事は理事役員会ははじめ各委員会委員長及び委員を構成し、本会の事業を分掌し実行する。理事の分掌業務は細則第2条でこれを定める。
8. 会計監査は本会の会計を監査し、その結果を総会に報告する。

第7条 (役員任期)

本会の役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。
補欠員の任期は前任者の在任期間とする。

第8条 (会議)

1. 本会の会議は、総会、理事役員会、及び委員会とする。
2. 総会は本会の最高決議機関で会長がこれを召集し、定期年次総会は毎年1回、年度はじめに開催する。理事役員会の要請によって臨時総会を開くことができる。総会の議長は会長がこれにあたる。
3. 理事役員会は必要に応じ随時これを開くことができる。理事役員会は本会の年次方針、年間行事及び本会の企画組織、運営、管理その他重要事項について協議の上決定し実行に移す。但し、理事役員人事、年間行事、予算、決算その他の重要事項については総会の承認を得なければならない。
4. 委員会は理事役員会又は総会において付託された事項並びに必要な事項について統括委員長のもとに協議し、これを実行にうつす。
5. 本会の会議における決定は、すべて出席者の過半数の挙手をもって決するものとする。
6. 総会及び理事役員会の議事については、議事録を作成しなければならない。議事録は事務局が作成し、2名の理事の確認を必要とする。

第9条 (会計)

1. 本会の経費は入会金、会員の年会費及び寄付金、事業に伴う収入、その他の収入をもってこれに充当する。
2. 正会員の入会金は2,000円とし、会費は年額3,000円とする。但し、法人会員は入会金5,000円、会費は年額一口10,000円以上とする。
但し、正会員の会費について入会が年度途中のものにあつては、半年以内は半額、半年以上は1年分とする。
3. 名誉会員、会友及び顧問の年会費はこれを免除する。
4. 本会の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

第10条 (慶弔費)

1. 慶弔費の受給資格者は、本会に10年以上在籍する会員もしくは本会への貢献度の高い非会員を対象とした上で、会長判断により適否を決定する。
2. 慶弔費は本人(1親等まで)に対し10,000円を支給する。

第11条 (附則)

1. 本会会則の改正は、理事役員会の議を経て、総会の承認を必要とする。
2. 本会の事務局は、理事役員会の議を経て随時変更することができる。
3. 本会の企画、組織、管理等の具体的な要領については、第8条3項の理事役員会の決定に基づき細則をもって規定することができる。
4. この会則は平成9年4月13日改正、同日よりこれを実施する。

札幌国際親善の集い 細則

第1条 (組織)

1. 「国際親善の集い」の組織は、下記の通り定める。
会長 1名
副会長(統括委員長兼務) 2名
理事長 1名
副理事長(統括委員長兼務) 2名
事務局長 1名
委員会委員長 6名
委員会委員(事務局を含む) 若干名

会計監査 2名

2. 会則第8条4項並びに第10条3項の規定に基づき、本会の管理運営を円滑にするため、理事役員会のもとに下記の委員会を置き、統括委員長が系統的にそれぞれの委員会を統括する。

統括委員長(1)……総務委員会及び企画委員会

〃 (2)……会計委員会及び広報・会報委員会

〃 (3)……国際・渉外委員会及び地区増強委員会

第2条 (委員会)

会則第6条8項の規定に基づき委員会の業務は、下記の通りとする。

1. 「総務委員会」

本会の理事役員会を円滑に運営するための事務を行う。

ア. 会合・会議にかかわる一切の業務、議題の確定、会場の運営等。

イ. 他委員会との連絡調整業務。

ウ. 記録、議事録等の管理。

エ. 資料、写真等の保管。

オ. その他通常、その職務に付随する業務を行う。

2. 「企画委員会」

本会の目的を達成するために必要にして有効な事業、行事その他を調査し、企画立案を行う。

3. 「会計委員会」

本会のすべての資金を管理・記録・保管し、会費の収支業務のほか、入会業務(入会金・会費・領収書)各委員会に対する予算の作成、寄付金の受付、予算決算書の作成、その他通常これに付随する業務を行う。年度末には会計監査を受け、理事役員会に報告し、総会の承認を得るものとする。

4. 「広報・会報委員会」

国際親善に関する企画・行事・活動等をはじめ国際親善に対する世評の高揚に資する情報の提供、パンフレット(入会案内)の作成等適切なPRを行う。一方、行事等についての情報、その他有効な情報を「会報」(年1回発行)に編集・印刷し、これを会員及び関係機関に配布する。

5. 「国際・渉外委員会」

在札外国公館・在留外国人・留学生ほか公的機関に対する国際交流業務などの推進をはかるほか、国際親善に資する情報の収集その他関連事項の実施につとめる。また、法人会員などとの接渉業務を行う。

6. 「地区増強委員会」

年度内における会員増強計画を立て、これを実行にうつす。

入会申し込み状況・退会状況等会員の動静を的確に把握し会員名簿を作成する。

異動のある場合は随時理事役員会に報告する。

市内9地区を当分「中央・南地区」「北西地区」「東豊地区」の3地区に区分する。各地区に「小委員会」を構成し、地区内会員に対する連絡をはじめ、その他地区にかかわる必要な一切の関連業務を担当し、これを実行にうつす。

第3条 (理事役員等の選出)

1. 会長は理事役員会の総意に基づき選出し、総会の承認を求める。

理事長並びに副会長は会長の指名に基づき、理事役員会の議を経て総会の承認を求める。

2. 副理事長並びに統括委員長は理事長が指名し、理事役員会の議を経て総会の承認を求める。

3. 事務局長並びに各委員会委員長は理事長が指名し、理事役員会の承認を求める。

4. 各委員会の委員は各委員長が指名し、統括委員長を経て理事役員会に報告し、その承認を求める。

5. 会計監査は理事長が指名し、理事役員会の議を経て総会の承認を求める。

6. 各役職の任免は、会長もしくは理事長が書面をもってこれを行い、退会・辞職にあつては理事役員会に報告する。

第4条 (指揮・命令系統)

本会の意志決定は、理事以上をもって構成する「理事役員会」がこれを行う。理事役員会の会議の開催、議題の設定、議事の統括及び運営等は理事長が行う。

第5条 (予算の配分)

1. 各委員会委員長は、年度内の当該委員会の必要予算を計上して会計委員会に提出する、会計委員会はこれを整理し、予算配分案を作成し理事役員会の議を経て決定する。各委員長は年度末に収支について会計委員長に報告しなければならない。

2. 配分を受けた各委員会の予算の支出については、「支払指図書」に必要事項を記入の上、理事長又は当該統括委員長の承認印を捺印の上、会計委員長に提出する。会計委員長はこれを確認の上支出手続きをとる。予算の範囲を越える支出は、原則としてこれを認めない。

あ と が き

25周年記念誌の編集委員を仰せつかって、早や数か月が経とうとしています。

おかげ様で皆々様のご協力を頂戴致しまして、楽しく和気あいあいの中にも厳しく公明正大を心がけ、とうとう完成をみる事が出来ました。多くの方々に原稿をお願いし、写真などの提供をいただき、ご協力賜りましたことに心より御礼申し上げます。

これからも、益々札幌国際親善の集いの発展に寄与下さいます様お願い申し上げ、あとがきといたします。

編集委員長 八百坂康子



編集委員会
八百坂康子
谷口エツ
新家比佐子
藤節子
佐藤美都子
田尻俊一

「札幌国際親善の集い」創立25周年記念誌

発行日 平成26年 3月31日

発 行 「札幌国際親善の集い」事務局

札幌市中央区宮の森 3条13丁目 4 - 35谷口方

電話 (011) 644-1735

SAPPORO



Meeting of International Friendship

札幌国際親善の集い